

平成24年度 中広中学校学校経営全体構想図

日本国憲法
教育基本法
学校教育法

学校教育目標

心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する

目指す学校像

- ① 高い授業力と協同的な学びのある学校
- ② 誇りと信頼の絆で結ばれている学校
- ③ 保護者・家庭・地域・関係団体と協力・信頼の絆で結ばれている学校

目指す生徒像

- ① 自己肯定感を持った生徒
- ② ねばり強くやり抜く強い意志と、周囲への思いやりを持つ生徒
- ③ 地域を大切にする生徒

目指す教師像

- ① 確かな授業力を身に付けた教師
- ② 豊かな教養・人間性を持つ教師
- ③ 常に自ら学び続け、積極的な意欲を持つ教師

中期経営目標

学力・体力の向上

授業に意欲的に取り組むことができる生徒を95%以上とし、授業において思考力・判断力・表現力を育む指導を展開する。(1年次)

豊かな人間性の育成

あいさつ・学級活動・生徒会活動をとおして、互いを信頼、尊重し合える仲間づくりを目指すとともに、生徒自ら自己肯定感を実感する生徒を90%以上とする。(1年次)

信頼される学校づくり

保護者・地域に学校の取組をとおして、学校への信頼度において、肯定的評価を90%以上とする。(1年次)

短期経営目標

- ① 授業が分かる生徒を80%以上とする。
- ② 基礎・基本定着状況調査、全国学力・学習状況調査での通過率が60%以上の生徒を80%以上とし、30%以下の生徒を5%以下とする。

- ① あいさつの習慣が付いたと実感する生徒を90%以上とする。
- ② 掃除を自己研鑽の場・機会として取り組む生徒を90%以上とする。

- ① 学校内外のボランティア活動への参加経験を持つ生徒を70%以上とする。
- ② 地域に開かれた共催行事を開催する。

具体的方策

学力・体力の向上

- ① 「本時の目標」・「振り返りシート」を活用し、授業マナー・スタイルを確立する。
- ② ICT機器の活用を通じて、学力の定着を図る。
- ③ 特別支援教育を視野に、実態に応じた個別指導を行う。
- ④ 家庭での学習習慣を身に付けるため、週末課題・学習ノートを活用する。
- ⑤ 学力諸調査の学習に関する報告書内容を活用した取組を展開する。
- ⑥ 学区小学校と連携し、義務教育9カ年を見通した基礎学力・生活習慣の定着を図る。
- ⑦ 学習指導要領の目指す授業・評価研究を行い、相互授業公開等による授業力アップを図る。
- ⑧ 部活動参加率向上を図る啓発を行う。

豊かな人間性の育成

- ① 相互にあいさつを積極的に行うとともに、黙動による清掃活動の協働をとおして、身の整理整頓・美化の習慣を身に付ける。
- ② 「がんばりチケット」を活用し、生徒への肯定的評価活動を行う。
- ③ 月1回の構成的エンカウンター・ライフスキル教育をグループ単位に実践的研修を行う。
- ④ 生徒指導規程の周知を図り、社会規範意識の醸成を図る。
- ⑤ 専門委員会を活性化し、清掃ボランティア等の校内美化および読書活動の推進を図る。
- ⑥ 学力諸調査の生活に関する報告書内容を活用した取組を展開する。
- ⑦ 授業に生徒指導の三機能を生かし、協同学習の場面を1日で30分間確保する。

信頼される学校づくり

- ① 学習指導要領の全面実施に伴い、評価計画について研修し、信頼と責任ある評価を行う。
- ② ボランティア紹介黒板による広報やボランティア手帳を活用し、校内外での参加機会を増やす。
- ③ 地域行事である横川ふしぎ市・公民館まつり・青少年健全育成団体等への参加を図る。
- ④ ふれあい活動推進協議会等と連携し、地域との協同・参加型の行事を開催する。